

[調査会 NEWS 732](20.12.31)

## ■水中スクーター

北朝鮮の作業員が上陸浸透に使うための水中スクーターは現在 3 台が発見されています。(1) 福井県美浜町の海岸で平成 2 年 10 月に発見されたもの、(2) 富山県黒部川河口で平成 13 年 3 月に発見されたもの、そして (3) 同じ平成 13 年の 12 月に奄美沖でのいわゆる「九州南西海域における工作船事件」で沈没した工作船に搭載されていたものです。

ここではご参考まで、(1) と (2) についての資料を掲載します。見ていただければ分かるようにほとんど同型のものです。詳しい資料がありませんが (3) も同様です。

ちなみに、(1) は福井県警、(2) は富山県警が保管しており、(3) は引き上げられた工作船とともに、海上保安資料館横浜館に展示されています。調査会の展示で度々お見せしているのは (3) のレプリカ (1 分の 1 模型) で、一昨年の北朝鮮人権週間イベントで借りようとしたところ、海上保安庁の許可が下りなかったため、調査会の曾田理事が一人で材料を調達し、溶接して作ってしまったものです (モーターを積めば北朝鮮に乗り込める、かどうかは分かりません)。

たまたま見つかったのがこれだけですから、おそらく日本の海岸線周辺を掘り返せば山ほど見つかるでしょう。年末年始の休みでお時間のある方はやってみたらいかがでしょうか。なお、これを使って上陸した作業員が物見遊山をして北朝鮮に帰った訳でないことは言うまでもありません。

### (1) 福井県美浜海岸で発見された水中スクーター

平成 2 (1990) 年 10 月に福井県美浜町の松原海岸に工作子船などが漂着した、いわゆる「美浜事件」の折、付近の松林から発見されたもの。

塗色：緑色

塗料：アルキッド系樹脂塗料

材質：アルミニウム合金製

全長：150 センチ

直径：27 センチ

重量：69 キロ

スクリュー：アルミニウム合金製・丸形プロペラ 3 枚・プロペラ直径 26 センチ

スイッチ：1 個 外国製トグルスイッチ 起動及び変速用

モーター：水冷式（海水を利用） 「直発」を意味するハンゲル刻印の他、「430」「27.5V 36A」の刻印。

Oリング：アクリロニトリブダジェンゴム 2 本、直径 27 センチ

バッテリー：陽極に銀、陰極に亜鉛、電解液に水酸化カリウムを用いた「酸化銀電池」と呼ばれるアルカリ蓄電池 縦 6.6 センチ×横 9.8 センチ×高さ 13 センチ 8 個×2 列=16 個 製造刻印 1 9 8 8 1 9 8 9 1 9 9 0

## (2) 富山県黒部川河口で発見された水中スクーター

平成 13（2001）年 3 月 29 日に通報。周辺の植生状況から判断して平成 10（1998）年 11 月下旬頃から 11（1999）年 4 月頃までの間に埋められたとみられている。

塗色：緑色

塗料：アルキッド系樹脂塗料

材質：アルミニウム合金製

全長：160 センチ

直径：27 センチ

重量：78 キロ

スクリュー：アルミニウム合金製・三角プロペラ 3 枚・プロペラ直径 26 センチ

スイッチ：2 個 日本製トグルスイッチ 起動及び変速用

モーター：空冷式 「直発」を意味するハンゲル刻印の他、「430」「27.5









会の調べでは現時点で合計 12 カ国の人を拉致していることが分かっています。別にタイやルーマニアが朝鮮人の強制連行を行った訳ではなく、したがって歴史的な問題は単なる言い逃れに過ぎません。

また、北朝鮮は帰国した在日朝鮮人やその日本人家族を、帰国前の約束を破り返しませんでした。これも拉致に近い行為です。韓国人の場合は朝鮮戦争中(開戦から休戦までの 3 年間)に 8 万 3000 人を超える拉致被害者の氏名が確認されており、その発想は「足りなければ持ってくれば良い」という、極めて安直なものです。自力でものを作ろうとせず、何でも外から持ってきたり、連れてきて作らせようとするのは今も変わっていません。

そこから、何が考えられるかと言えば、直近でも拉致は考えられるし、今後もやるだろうということです。「拉致問題は、すでに事件は終わっており、今やることは向こうに捕らわれている人を救い出すこと」という考え方は転換すべきだと思います。

しかしまだこの点は実感として掴めない方が多く、調査会としては今後もできるだけ情報を積極的に明らかにしていきます。機会がありましたらこれまでの記者会見等もご覧いただければ幸いです(下記の(株)ネットライブのホームページでご覧になれます)

<http://www.netlive.ne.jp>

■調査会役員の参加する講演会等の予定(公開の拉致問題に関するイベントのみ)

★平成 21 年 1 月 18 日(日) 14:00 北朝鮮による人権侵害について考える県民集会(救う会徳島主催)

●阿南市文化会館夢ホール(阿南市富岡町西池田 135-1)

●代表荒木が参加

●問い合わせ 090-5141-1995(救う会徳島事務局)



[調査会 NEWS 729](20.12.28)

## ■拉致問題と北朝鮮人権問題

荒木和博

14日に開催された6団体合同行事に参加された何人かの方から、「これまで拉致問題だけに興味を持ってきたが、政治犯収容所や脱北者の問題も大事であることが理解できた」とのお言葉をいただきました。主催者の一人として、本当に嬉しく思います。もちろん独りよがりになってはいけないのですが。

何度も同じようなことを書いていますが、「拉致問題という重大な人権侵害を受けている日本だからこそ、北朝鮮の人権問題は誰よりも実感できる。苦しんでいる北朝鮮の人々も救うために先頭に立つから協力してもらいたい」というのが国際的には最も理解しやすい呼びかけ方だと思います。その意味では拉致問題を進展させるためにも私たちは拉致、特に日本人拉致問題だけを語るべきではないでしょう。

また、日本人拉致問題だけでいけば、当然「取引」ということが出てきます。私はそれも一つのアプローチだと思います。制裁だけで後はただじっと待っているというのは改めるべきと思いますが、懸念されるのは取引でやることによって数人が帰り、それ以外は蓋をされてしまうことです。実際年末年始の休みを隠れ蓑にして何か動くのではないかという噂もないわけではありません。ですから、拉致問題の解決のためには同時に北朝鮮人権問題全体への取り組みが欠かせないのです。

いつもこのように説明をしているのですが、考えてみれば北朝鮮の人権問題というのはもっと単純な話でもあるのです。それは「目の前の国で苦しんでいる人がいるのだから、日本が助ける」ということです。

例が飛躍するかも知れませんが、ソマリア沖の海賊対策で護衛艦を出さないとか、出しても集団的自衛権の制約で他の国の船がやられていても手助けでき





古川了子さんの拉致認定を求める行政訴訟の当時は政府がこのような施策をとることは想像もできませんでしたが、今後さらに未認定者への取り組みを強めてもらいたいと期待する次第です。いうまでもなくもっとも行ってもらいたいのは情報収集ですが、調査会としてもさらに政府に求めて参ります。

また、現在の対策本部の活動は基本的に拉致問題のみを管轄しているわけで、帰国者・脱北者及び強制収容所の問題などは担当ではないのですが、それらの問題には事実上窓口がないというのが現実です。日本が北朝鮮人権問題で先頭に立つことは我が国の国際的地位の向上はもちろん、拉致問題における情報収集や国際的な協力を強めるためにも極めて重要であり、今後は政府に対して窓口の明確化も求めていくことになると思います。

なお、調査会の政府に対するスタンス自体は変わるものではなく、これまで通り「建設的緊張関係」を維持して参ります。逆に、そうは言っても難しいでしょうが、政府の方からも調査会の活動の中で批判すべきことがあれば批判してもらいたいと思っています。

今後、「救出」という方向性は一つにしながら（政府も「帰国」を「救出」へと変えてもらわなければなりません）、アプローチはその立場によって様々な形がとられるべきだと思います。私たちが批判は批判として受け入れながら、主張をし行動していきたいと思っています。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★平成 21 年 1 月 18 日(日) 14:00 北朝鮮による人権侵害について考える県民集会（救う会徳島主催）

●阿南市文化会館夢ホール（阿南市富岡町西池田 135-1）

●代表荒木が参加

●問い合わせ 090-5141-1995（救う会徳島事務局）

★2 月 1 5 日（日）14:00 「特定失踪者寺島佐津子さんの失踪の真相を究明す



[調査会 NEWS 727](20.12.18)

昨日 17 日の記者会見で以下の通り発表しました。

■特定失踪者 1000 番台リスト（第 16 次）

今津淳子さんを 0 番台リスト（拉致の可能性が排除できない失踪）から 1000 番台リスト（拉致の可能性が高い失踪）に切り替えました。

今津 淳子（いまづ じゅんこ）さん

生年月日：昭和 32 年 5 月 28 日

失踪年月日：昭和 60 年 4 月 30 日

当時の年齢：27 歳

性別：女

失踪場所：埼玉県深谷市

当時の身分：保母

失踪状況

大分県南海部郡上浦町（現佐伯市）出身。当日休暇をとって大宮の運転試験場へバイクの免許を取りに行った。同日 19 時頃寮の同僚に「これから 13 分のバスで帰る。何か買い物はないか」と電話連絡したまま消息不明。同日 21 時頃最寄りのバス停と寮の間の民家の人がいぬが激しく鳴くのを聞く。翌朝その人が畑の中に今津さんの両方の靴があるのを発見した。警察は公開捜査を行ったが目撃証言もなく安否につながる情報もない。家出するような動機もない。「北朝鮮にいる」との未確認情報がある。

## ■ 「しおかぜ」 年末年始特別番組編成について

北朝鮮人権侵害問題啓発週間（12月10日から16日）の間、河村建夫官房長官を始めとして、元CIAアーサー・ブラウン氏、また日頃から北朝鮮人権問題でご活躍の各界の皆様方より、貴重なメッセージを頂くことが出来ました。これらのメッセージは「北朝鮮人権問題啓発週間特別番組」として3番組（予定）に分け、年末年始の期間、数回に渡りリピート放送を行います。収録にご協力頂いた皆様には感謝申し上げます。週間中にメッセージを収録させていただいたのは次の方々です（敬称略）。

河村建夫（官房長官）・伊藤信太郎（外務副大臣）・衛藤晟一（自民党参議院議員）・中井 洽（民主党衆議院議員）・松原 仁（民主党衆議院議員）・白 眞勲（民主党参議院議員・日本語、朝鮮語）・飯塚繁雄（家族会代表）・有本嘉代子（家族会）平野フミ子（家族会）・小林七郎（特定失踪者家族）・西岡 力（救う会会長代行・日本語、朝鮮語）・島田洋一（救う会副会長）・平田隆太郎（救う会事務局長）・三浦小太郎（守る会代表）・宋 允復（ノーフェンス・守る会事務局長・日本語、朝鮮語）・加藤 博（北朝鮮難民救援基金事務局長）・ケイト・ニールセン（北朝鮮難民救援基金国際担当理事・英語）・アーサー・ブラウン（元CIA東アジア部長・英語）・恵谷 治（ジャーナリスト）・萩原 遼（ジャーナリスト・日本語、朝鮮語）・洪ヒョン （早稲田大学客員研究員・朝鮮語）・鄭 大均（首都大学東京教授）・稲川和男（映像教育研究会代表）・予備役ブルーリボンの会・チェロ演奏（江原望・鳥の歌）

## ● しおかぜのこの一年

- 1月 中国からの受信報告増加（吉林省、山東省、安徽省、甘肅省など）
- 2月14日 平壤（羊角島ホテル）にて良好に受信確認
- 2月21日 朝鮮の声による調査会への反論批判「無駄なことは止めるべき」
- 3月 3日 BBCがしおかぜを報道
- 3月26日 妨害電波対策「猫の目作戦」発表、新周波数へ変更
- 4月 4日 妨害電波発射確認（9日目）
- 4月 8日 周波数変更、猫の目作戦開始
- 4月15日 妨害電波発射確認（6日目）

- 4月18日 さらに周波数変更  
4月23日 妨害電波発射確認（5日目）  
5月28日 韓国（江華、議政府）にて良好に受信確認  
6月11日 石原都知事メッセージ収録  
6月12日 周波数変更  
6月15日 都知事メッセージオンエア  
6月19日 妨害電波発射確認（4日目）  
6月27日 都知事妨害電波について会見でコメント  
「妨害を講じるってことは、彼らのやったことを自分で証明して  
いることになるんじゃないでしょうか」  
8月 3日 「9割の市民がしおかぜを聴いている」産経新聞  
8月25日 「外国のラジオ放送を聴取する北の幹部が増加」デイリーNK  
8月29日 周波数変更、9月2日妨害発射確認（3日目）  
10月30日 しおかぜ3年目  
11月 1日 資金難による放送時間短縮問題報道

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★12月21日（日）13：30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・シンポジウム（拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催）

●鳥取県民ふれあい会館（鳥取駅から徒歩3分）

●常務理事岡田が参加

●問い合わせ 0857-82-3645（伊吹さん）

★12月21日（日）14：00 講演集会イン富山（同会実行委員会主催）

●サンシップ富山（市電県庁前下車2分 076-432-6141）

●代表荒木が参加

●お問い合わせ076-492-7788

★平成21年1月18日（日）14:00 北朝鮮による人権侵害について考える県民集会（救う会徳島主催）





でしょう。

そのときに、「これはこういう事実があつて北朝鮮の主張は嘘である」という反論も必要ですが、いくらでも嘘はつけるのですから、延々とそれに対する反論をやっていればモグラたたきのようになってしまつてこちらが消耗するだけです。

これを乗り越えるのは「日本は単に自国民を助けようとするだけではなく、普遍的人権問題に積極的に取り組むのである」という姿勢を国際的にアピールすることだと思います。その意味で政治犯収容所の問題や脱北者の問題に日本人の関心が高まることは、回り回って拉致問題の解決に大きな効果を挙げるものと思います。

さらにこの活動を続けていくことは拉致被害者に関わる情報を収集することにもつながり、もちろん北朝鮮の体制を弱め、民主化にもっていくことによって拉致被害者救出への糸口を作っていくことができます。「日本は拉致問題ばかり出して北朝鮮を敵視する」というのは日本の中の数少ない親北分子の常套句ですが、「いや、北朝鮮の民衆も救う視点からもこの活動が必要なのだ。お前は北朝鮮の人々を苦しめている金正日独裁体制を擁護するのか」と言うことができます。北朝鮮に対しても逃げ道を塞ぐことになるでしょう。

保守系の人の中には拉致問題に熱心な余り、北朝鮮の人すべてが拉致の犯人であるかのような物言いをしたり、収容所や脱北者の問題には一切関わらないという人がいますが、それこそ「八紘一宇」の精神にもとるものではないでしょうか。もちろん、主権侵害という意味で言えば拉致は特別な問題です。しかし、それは本来日本がその国力をもって取り返すべきことであり、人権問題という観点から考えたとき、拉致だけをやるというのは芥川龍之介の「蜘蛛の糸」のようになりかねません。

思想の如何を問わず、そこに苦しんでいる人がいれば助けるべきであり、その行動があつてこそ他国の国民も日本を信頼し、協力しようとするのではないかと思います。今後も私たちは北朝鮮の人権問題の改善のための活動を続けて

参ります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★12月21日（日）13：30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・シンポジウム（拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催）

●鳥取県民ふれあい会館（鳥取駅から徒歩3分）

●常務理事岡田が参加

●問い合わせ 0857-82-3645（伊吹さん）

★12月21日（日）14：00 講演集会イン富山（同会実行委員会主催）

●サンシップ富山（市電県庁前下車2分 076-432-6141）

●代表荒木が参加

●お問い合わせ076-492-7788

★平成21年1月18日（日）14:00 北朝鮮による人権侵害について考える県民集会（救う会徳島主催）

●阿南市文化会館夢ホール（阿南市富岡町西池田135-1）

●代表荒木が参加

●問い合わせ 090-5141-1995（救う会徳島事務局）

★2月15日（日）14:00 「特定失踪者寺島佐津子さんの失踪の真相を究明する集い」（救う会神奈川主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090（9816）2187又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★3月28日（土）13：00 「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」 情文センター口 0分）

<http://www.idec.or.jp/shisetsu/s6-jouhou.php4?f=jouhou/6-map.htm>



調査会の 12 月の定例記者会見は下記の通り行います。報道関係の皆様には年末ご多忙な中申し訳ありませんがご対応賜りますようお願い申し上げます。

日時 12月17日(水) 14:00～

場所 第6松屋ビル3F(調査会事務所の下)

内容 1000番台リスト発表(若干名)

その他

#### ■参考情報

(既報ですが、再度お送りしておきます)

12月14日に東京の明治大学で開催される「北朝鮮全体主義国家の実状を訴える6団体共同集会 アジア人権人道学会設立準備期成会」は既にお知らせしているとおりの多様な展示・映像・発表などが行われます。ぜひご参加下さい下記が同行事のブログです。

<http://d.hatena.ne.jp/asiajj/>

それ以外の都内で行われる主な集会は次の通りです。

◎7日 東京都・都議会拉致議連・家族会・救う会・調査会主催シンポジウム

あわせて7日から13日まで都庁では写真パネル展がおこなわれます。詳しくは 東京都 ホーム ページ ( <http://www.metro.tokyo.jp/INET/EVENT/2008/11/21ibs100.htm> ) をご参照下さい。

◎7日 NO FENCE 主催「北朝鮮強制収容所廃絶 東京国際会議」

詳しくは NO FENCE ホームページ ( <http://nofence.netlive.ne.jp> ) をご参照下さい。

◎12日 救う会・家族会・拉致議連の共催で国際シンポジウムが行われます。

詳しくは救う会ホームページ (<http://www.sukuukai.jp>) をご参照下さい。

◎13日 政府主催「拉致問題を考えるみんなの集い」(募集締め切り)

#### ■ソウルでも北朝鮮人権週間行事

韓国では市民団体が中心になって北朝鮮人権週間を設定(12月8日から14日)し、ソウルなどで行事が行われます。韓国語が読める方は下記の「拉致・脱北 市民連帯」(都希侖 -ドヒユン-代表)ホームページをご参照下さい。12月10日にソウルの外信記者クラブでセミナー、8日から14日まで清溪川広場ギャラリーで写真等の展示を行います。調査会でも写真提供等協力しており、日本人拉致被害者に関する写真も映像で展示されます。

<http://www.chnk21.org/kimsboard7/>

また、日本大使館でも12月17日16:30からソウル市内の日本大使館広報文化院で映画「めぐみ」の上映と懇談会を行います。お問い合わせは韓国大使館(ソウル02-734-5359)まで。

■調査会役員の参加する講演会等の予定(公開の拉致問題に関するイベントのみ)

★12月7日(日)14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ:090(9816)2187又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★12月21日(日)13:30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・シンポジウム(拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催)



MMMMMMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 724](20.12.5)

## ■6 団体合同行事について

12月14日に東京の明治大学で開催される「北朝鮮全体主義国家の実状を訴える6団体共同集会 アジア人権人道学会設立準備期成会」は既にお知らせしているとおりの多様な展示・映像・発表などが行われます。ぜひご参加下さい（映画は「クロッシング」が「めぐみ」に変更になりました）。下記が同行事のブログです。

<http://d.hatena.ne.jp/asiajj/>

それ以外の都内で行われる主な集会は次の通りです。

◎7日 東京都・都議会拉致議連・家族会・救う会・調査会主催シンポジウム

あわせて7日から13日まで都庁では写真パネル展がおこなわれます。詳しくは東京都ホームページ（<http://www.metro.tokyo.jp/INET/EVENT/2008/11/21ibs100.htm>）をご参照下さい。

◎7日 NO FENCE 主催「北朝鮮強制収容所廃絶 東京国際会議」

詳しくはNO FENCE ホームページ（<http://nofence.netlive.ne.jp>）をご参照下さい。

◎12日 救う会・家族会・拉致議連の共催で国際シンポジウムが行われます。

詳しくは救う会ホームページ（<http://www.sukuukai.jp>）をご参照下さい。

◎13日 政府主催「拉致問題を考えるみんなの集い」（募集締め切り）

■ソウルでも北朝鮮人権週間行事

韓国では市民団体が中心になって北朝鮮人権週間を設定（12月8日から14日）し、ソウルなどで行事が行われます。韓国語が読める方は下記の「拉致・脱北 市民連帯」（都希侖 -ドヒユン-代表）ホームページをご参照下さい。12月10日にソウルの外信記者クラブでセミナー、8日から14日まで清溪川広場ギャラリーで写真等の展示を行います。調査会でも写真提供等協力しており、日本人拉致被害者に関する写真も映像で展示されます。

<http://www.chnk21.org/kimsboard7/>

また、日本大使館でも12月17日16：30からソウル市内の日本大使館広報文化院で映画「めぐみ」の上映と懇談会を行います。お問い合わせは韓国大使館（ソウル02-734-5359）まで。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090（9816）2187又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★12月21日（日）13：30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・シンポジウム（拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催）

●鳥取県民ふれあい会館（鳥取駅から徒歩3分）

●常務理事岡田が参加

●問い合わせ 0857-82-3645（伊吹さん）

